

# 新年のご挨拶

## 平成三十一年



安芸高田市長  
浜田 一義

新年明けましておめでとうございます。安芸高田市民の皆様にご挨拶申し上げます。本年は、市政推進に對しましてご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年7月の豪雨災害は本市に甚大な被害をもたらしました。被災された方に、衷心よりお見舞い申し上げます。市としても、一日も早い復興を目指してまいります。

昨年は、人口減少対策を最重要課題と位置づけ、子育て支援の充実、学校教育の充実、地域での仕事づくりの3つの柱で事業を展開してまいりました。まず、子育て支援の充実としては、これまでのファミリーサポートセンター事業の充実、乳幼児等医療費助成制度の受給対象年齢拡大に加え、保育料の無償化を見据え、「第2子半額、第3子以降の無償化」を継続し

ながら、在宅育児世帯支援事業に取り組んでまいりました。次に、学校教育の充実としましては、県内トップレベルの学力を児童生徒に身に付けさせることを目標に、地域未来塾の充実を図り、小学校の教室に空調設備を設置しました。また、ICT機器活用による学力向上のため、電子黒板やタブレット端末を整備してまいりました。最後に、地域での仕事づくりとしましては、企業誘致や起業支援に加え、新たに「お試しオフィス」を整備し、「お試しオフィスモニターツアー」を実施し、都市部の企業を含め3社のサテライトオフィス誘致に成功いたしました。

このほかにも、将来、山林を活用した地域活性化を図るために、「森の学校プロジェクト」を実施し、市民に森林の重要性をPRしてまいりました。また、神楽門前湯治村、たかみや湯の森、エコミュージアム川根の有効活用を図るため、市民の健康づくりとして市内温泉施設を活用した取り組みや積雪等による高齢者等の生活を確保する「冬季等お太助ハウス利用助成事業」を実施いたしました。さらに、「生活支援員制度」を全市的に普及させて、効率的な福祉施策を実施し、市民

ながら、在宅育児世帯支援事業に取り組んでまいりました。次に、学校教育の充実としましては、県内トップレベルの学力を児童生徒に身に付けさせることを目標に、地域未来塾の充実を図り、小学校の教室に空調設備を設置しました。また、ICT機器活用による学力向上のため、電子黒板やタブレット端末を整備してまいりました。最後に、地域での仕事づくりとしましては、企業誘致や起業支援に加え、新たに「お試しオフィス」を整備し、「お試しオフィスモニターツアー」を実施し、都市部の企業を含め3社のサテライトオフィス誘致に成功いたしました。

このほかにも、将来、山林を活用した地域活性化を図るために、「森の学校プロジェクト」を実施し、市民に森林の重要性をPRしてまいりました。また、神楽門前湯治村、たかみや湯の森、エコミュージアム川根の有効活用を図るため、市民の健康づくりとして市内温泉施設を活用した取り組みや積雪等による高齢者等の生活を確保する「冬季等お太助ハウス利用助成事業」を実施いたしました。さらに、「生活支援員制度」を全市的に普及させて、効率的な福祉施策を実施し、市民

の皆様が安全・安心を感じることのできる施策を展開してまいりました。今年には平成最後の年であり、5月から新しい元号となります。まさに新しい時代の始まりです。本市におきましては、災害からの復興を第一に、一日でも早く元通りの生活ができるよう全力を尽くしてまいります。

これから、基幹産業である農業の振興と地域の魅力づくりや活力づくりとして、来年開業予定の「道の駅整備事業」、「田んぼアートプロジェクト」を実施します。これらを起爆剤に観光交流人口の増加を目指すとともに、引き続き、地域での仕事づくりはもちろん、安芸高田市の将来に向かって人材を確保するために多文化共生の推進に力を入れて取り組んでまいります。

また、「市民総ガイド構想」と位置づけ、市民の皆様だれもが、外国人に對しても、コミュニケーションが取れるような施策も展開してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



安芸高田市議会議長  
先川 和幸

安芸高田市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。安芸高田市議会を代表して、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、お健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より安芸高田市議会に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、7月に発生した豪雨と台風により、市内の多くの地域において家屋の床上床下浸水被害を受け、また公共施設・農業施設におきましても甚大な被害が数多く発生いたしました。この災害で犠牲になられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

私たち市議会議員の責務として、早期の復旧・復興等、山積する課題に

對し、二元代表制の一翼を担う職責を果たしていく必要性を痛感しているところであります。

さて、平成28年11月の市議会選挙から2年が経過し、任期の半分が終了いたしました。この2年間に、おきまして議会改革を積極的に進め、「議会基本条例」の制定や「地域懇談会」の実施により、市民の皆様の声市政に反映すべく努力してまいっております。

今年に入っては、平成32年度の供用開始に向け、多面的機能を有する「道の駅」の建設が進んでいくこととなります。今後におきましても「道の駅整備調査特別委員会」におきまして調査・協議を重ね、全国に誇れる「道の駅」となるよう推進してまいります。

さらに昨年末には、「働き方改革」のひとつの手法として打ち出され、市民の皆様が働きやすい環境を整えることにより初めて県外企業との調印がなされ、市内の空き施設を活用しての開業が進むこととなりました。この新たな就労形態の可能性を拡げることが、本市の抱える人口減対策の課題であり、「安芸高田市人口ビジョン」に

掲げる目標人口の達成に向け、空き家対策、U・Iターン者、子育て世帯の移住・定住の促進をより一層強化し、推進する必要があると実感しております。

中山間地域が抱える諸課題の早期解決に向け、厳しい財政状況ではありますが、創意工夫を行い、本市の目指す将来像を実現する必要があると考えます。

本市議会といたしましては、二元代表制の一翼として、これまで以上に民意を反映させるため、「議会の権限と機能」を十分に發揮し、行政が推進する各種施策に對し、監視や提言を行い、さらにその役割を果たしてまいります。

市民の皆様への負託にこたえるべく、さらなる「真に市民に開かれた、市民のための議会」の推進と活性化を目指し、努力してまいります。決意でございます。

どうか本年も、市議会に對しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年の新春にあたり、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。